

文教委員会資料

【新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び 工事施工手法について】

資料1 新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び工事施工手法について

資料2 新川崎地区小学校概要及び平面図

令和4年8月26日
教育委員会事務局

新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び工事施工手法について

1 経緯

(1) 進捗状況

- ・新川崎・鹿島田駅周辺地区は、大規模共同住宅が複数整備され、子育て世代を中心に人口の増加が進んでいるため、令和 7 年 4 月開校を目標に新設小学校の整備を計画
- ・令和 2 年度に基本計画を見直し、「地域と共に、ひとや環境にやさしい未来を創る次世代小学校」を理念とし、(1) 高機能かつ多機能で弾力的な施設環境の確保、(2) 地球環境へ配慮し、持続可能な社会の構築への貢献、(3) 地域の交流や多様な活動を支える、安全・安心な地域コミュニティの核の形成 を基本方針として整備

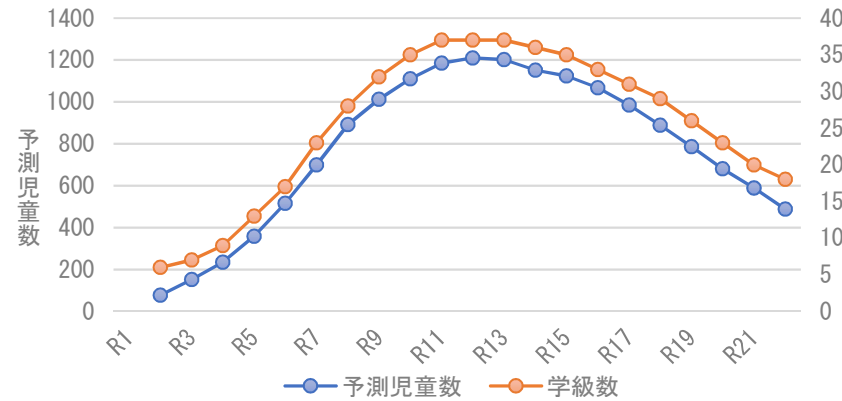
■これまでの取組

- 令和 2 年度 学校用地取得、基本構想・基本計画の策定
- 令和 3 年度 基本設計完了
- 令和 4 年度 実施設計着手

(2) 新校の主な特徴

ア 将来的な他用途転用への配慮

- ・用途転用可能エリア（校舎棟 2F～4F 南側の普通教室エリア）の集約配置
- ・間仕切り壁部のブレースをなくすことによる改修の容易性の確保など



イ 地域開放を念頭に置いた学校整備

- ・校舎棟 1F における特別活動室、みらいギャラリー、多目的ホール等の地域開放可能エリアの配置
- ・特別教室等の地域開放可能エリア（校舎棟 2F～4F 北側エリア）の集約配置

ウ 脱炭素化に向けた取組推進

- ・ZEB ready(エネルギー消費量を、従来建物の必要エネルギーの 50%以下まで削減することを実現している建物)の実現に向けた、積極的な木材利用、雨水利用、太陽光発電（PPA 事業連携）、高断熱・高気密化などの環境配慮施策の採用

2 工事監理等の手法検討

本小学校の整備期間である令和 5～6 年度に他の大規模建築工事が集中（工事金額 3.5 億円以上の A 等級：令和 4 年度 8 件、令和 5 年度 14 件、令和 6 年度 9 件予定）しており、職員による工事監理等を行うことが困難



小杉小学校(平成 29～30 年度工事)の立替施行の実績等を踏まえ、川崎市まちづくり公社による立替施行を実施 ※令和 4 年 3 月～5 月に協議を行った結果、川崎市まちづくり公社で対応可能との回答

3 事業費（予定）

10,230,328 千円（工事費 9,591,191 千円ほか。なお、わくわくプラザ分を含む。）

4 想定される課題

- ・新型コロナウイルス、ウクライナ情勢による資材調達への影響
- ・資材価格高騰による事業費の増額（設計委託手続き着手時点（R3.3）の概算工事費 85.5 億円から、令和 5 年 1 月時点（見込み）で約 96 億円へ上昇）

5 今後のスケジュール（予定）

(1) 工事関係

| | R 4 年度 | R 5 年度 | R 6 年度 | R 7 年度 |
|---------|----------------------------------|------------------|-----------------|------------------|
| 川崎市 | 詳細設計 ● 9 月議会 ・立替施行 ・事業費 | ● 6 月議会 ・契約報告 | | ● 3 月議会 ・譲渡契約 |
| まちづくり公社 | ● 2 月 入札 | ● 4 月 ・着工 | ● 12 月 ・工事完成 | |
| | 10 月 協定締結 | 2 月 譲渡契約 | | 開校 |
| | 建築工事（21 か月） | | | |

(2) 開校準備関係

- 令和 5 年度 通学区域及び校名の検討
学校設置条例改正の手続き
- 令和 6 年度 学校設置許可申請
開校準備（備品等購入、委託契約締結等）